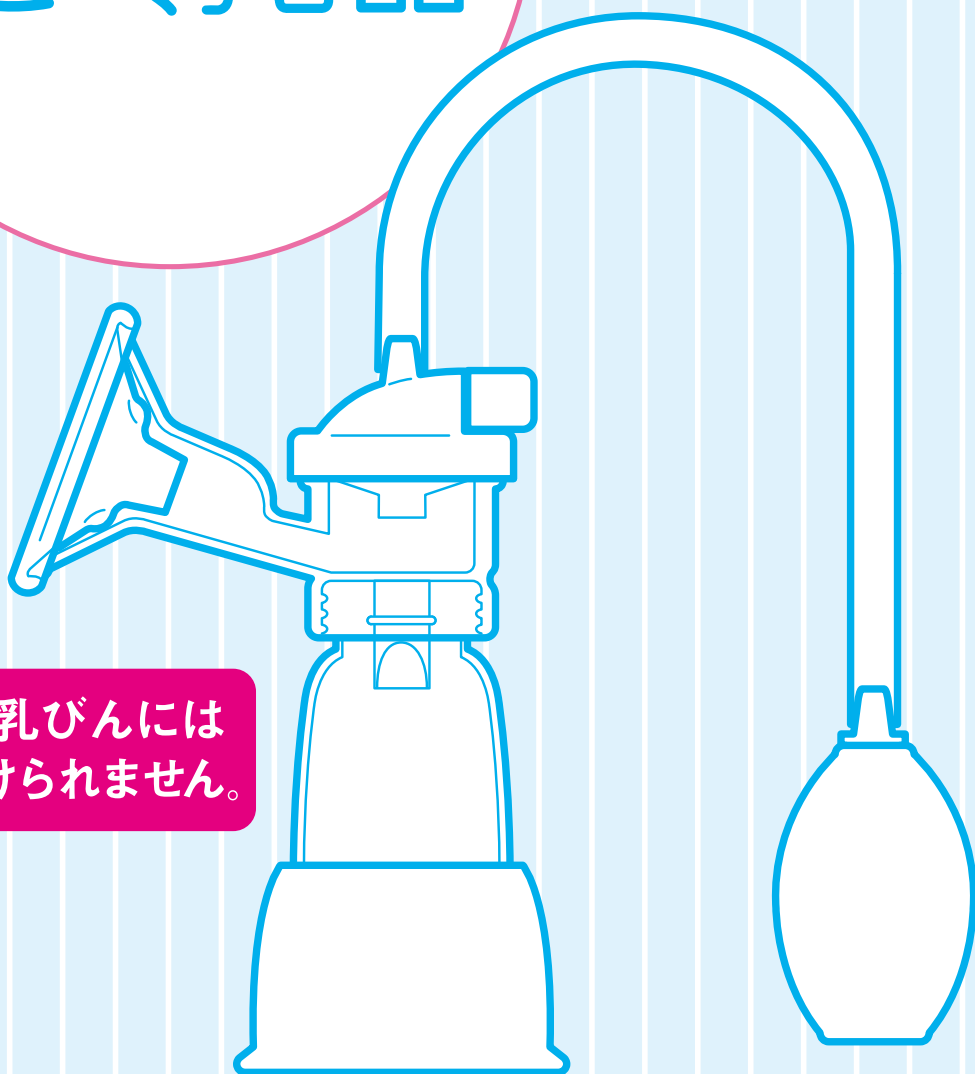




Manual Breast Pump
手動さく乳器

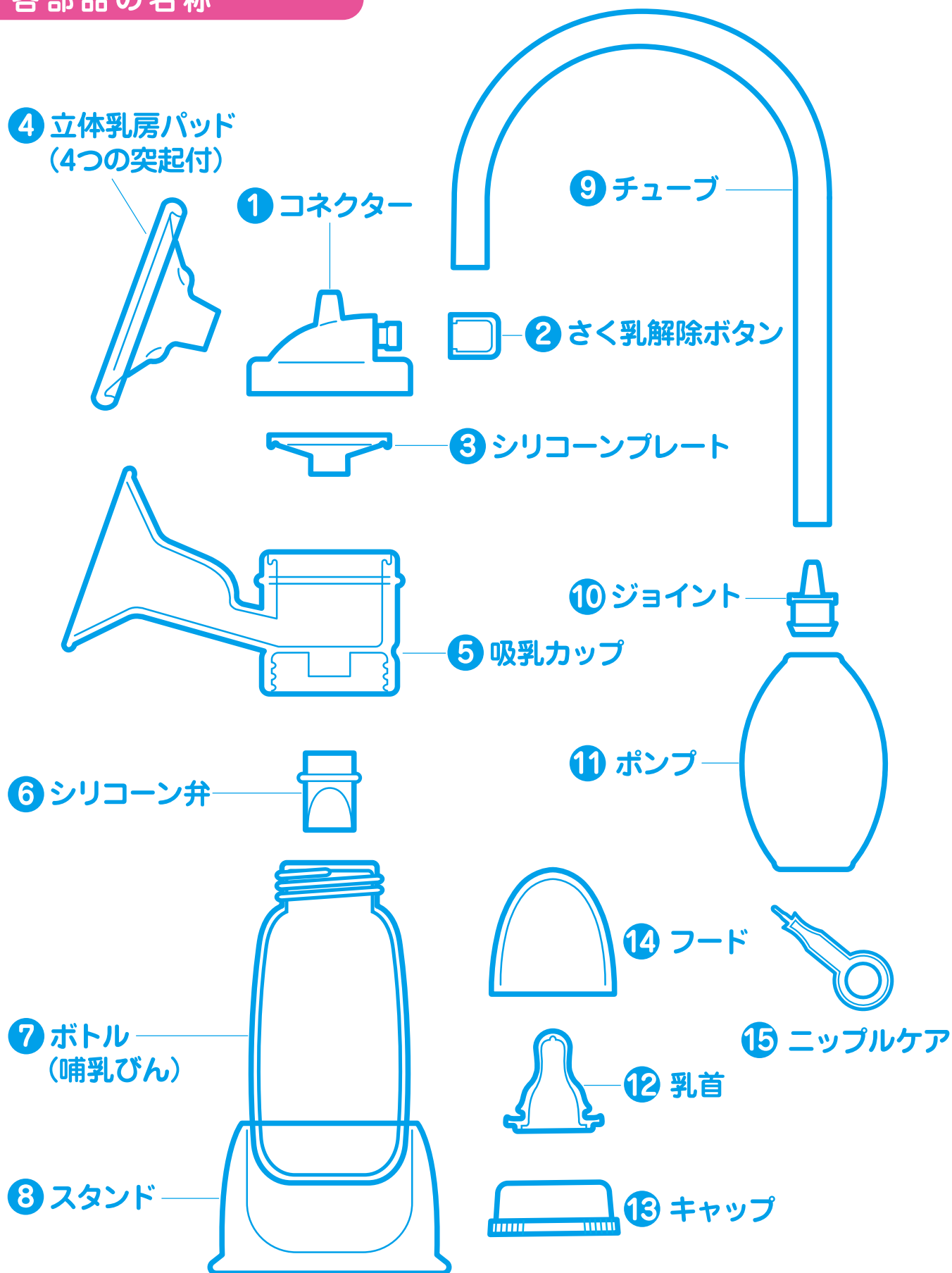


広口哺乳びんには
取り付けられません。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

(1) はじめに

各 部 品 の 名 称



各部品の説明と特長

① コネクター

吸乳カップに取り付けます。

② さく乳解除ボタン

ボトルを持った手でボタンを押すと、減圧できます。

③ シリコンプレート

吸引力を高める働きをします。

④ 立体乳房パッド（4つの突起付）

シリコン製でやわらかく、おっぱいをやさしく包みます。

4つの突起が乳管洞を刺激し、マッサージすることで痛みを和らげ、母乳が出やすくなります。

⑤ 吸乳カップ

おっぱいにあて、母乳を吸引します。

⑥ シリコン弁

母乳を速やかに哺乳びん側に落下させます。

⑦ ボトル（哺乳びん）

キズがつきにくいガラス製哺乳びんです。

※お手持ちのチュチュベビー哺乳びん（広口びんを除く）もご使用いただけます。

⑧ スタンド

哺乳びんをテーブル等に置く際にご使用いただけます。さく乳を途中でやめる時などに便利です。

⑨ チューブ

コネクターとポンプをつなぎます。

⑩ ジョイント

ポンプとチューブをつなぐジョイントです。

⑪ ポンプ

さく乳するための吸引ポンプです。

⑫ 乳首

じょうぶで長持ち、シリコンゴム製の乳首です。

※チュチュベビーの乳首は吸っている時だけ開くスーパークロスカット乳孔ですから、S・M・Lと切り替える必要がなく、離乳期までご使用いただけます。

⑬ キャップ

ボトルに取り付けます。

⑭ フード

乳首を保護するためのカバーです。

⑮ ニップルケア

乳首のスーパークロスカット乳孔と空気弁のお手入れに使用します。

ご注意 必ずお守りください

- 本品の目的（母乳をしぼって与える）以外には使用しないでください。
- 初めてご使用になる前には、必ず部品の洗浄と消毒をおこなってください。ただし、スタンド・ポンプは、消毒できませんので、洗浄のみをおこなってください。
- 100℃以上の高温になる業務用の消毒器や食器乾燥機でのご使用はおやめください。洗浄・消毒についての詳細は13ページをご覧ください。
- ご使用後、すぐにぬるま湯につけ、「チュチュベビー哺乳びん野菜洗い」などの専用洗剤、スポンジブラシなどで洗浄してください。

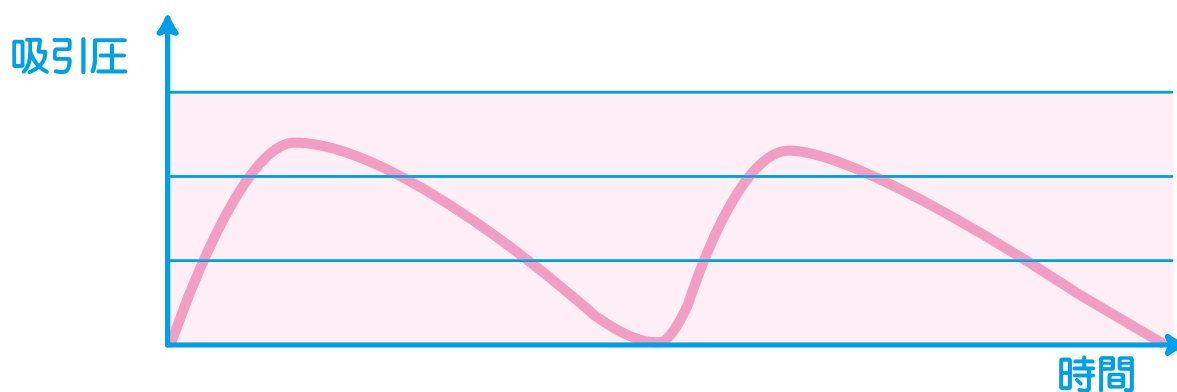
さく乳器（本商品）の特長

Point. 1 立体乳房パッドで「赤ちゃんがくわえているみたい」

- やわらかな素材が、おっぱいをやさしく包み、赤ちゃんが深くくわえている感を再現します。
- 立体乳房パッドに付いている4つの突起が乳管洞（乳腺部）をやさしく刺激。マッサージしながら、効率良くさく乳します。

Point. 2 ポンプが「赤ちゃんが吸ってるみたい」な吸引リズムを再現

- ポンプをゆっくり握る・はなす動作を繰り返すことで、赤ちゃんが吸っているような「吸って休んで」吸引を再現します。



※本品のさく乳効果は、体調・体質・個人差により異なりますので、ご了承ください。

さく乳をはじめる前に

- 1) さく乳する前は、まず気持ちをリラックスさせましょう。
- 2) おっぱい・乳頭をしっかりとマッサージして乳腺を十分に開かせましょう。
※マッサージすることで母乳の出が良くなります。
- 3) 自分に合ったペースでさく乳しましょう。
※個人差はありますが、少なくとも「張りがなくなった」という状態になるまでさく乳してください。こうすることで次の母乳の産生を促進します。

さく乳が初めての方に(使用上のご注意)

- おっぱい・乳首に痛みや出血・熱などを感じた場合、また母乳が出すぎる(分泌過多)場合は、すぐにさく乳を中止し、専門医にご相談ください。
- さく乳器はできるだけまっすぐにしてご使用ください。
- 使用するボトルの最大目盛り以上、さく乳しないでください。
- ボトルをテーブルなどに置く際は、必ず付属のスタンドに置いてください。
- 付属の哺乳びんを使って母乳の保存はしないでください。
- 付属の哺乳びんを使って電子レンジにて調乳用のお湯をつくること、またはミルク、母乳などを温めることはおやめください。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

出産直後は乳腺が未発達で母乳が出にくい状態です。その後、数日間で乳腺が発達し母乳が出はじめますが、1~2回のマッサージやさく乳だけでは出にくい場合もあります。毎日ゆっくりあせらずにおこなってください。それでもさく乳できない時は、専門医にご相談することをおすすめします。

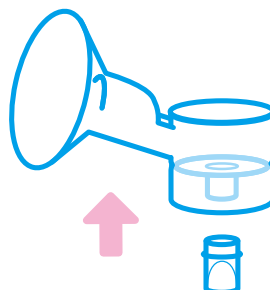
(2) さく乳をはじめめる

STEP. 1 さく乳器を組み立てる

※さく乳器セッティング前には小さな部品はお子様の手に届かないよう注意してください。

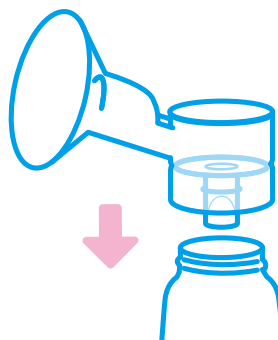
1

吸乳カップの下にシリコン弁を
セットします。



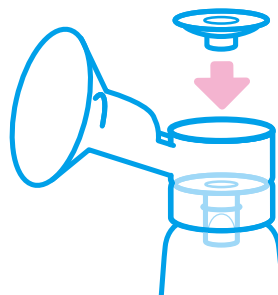
2

吸乳カップにボトルを取り付けます。



3

シリコンプレートを隙間ができない
ように吸乳カップに取り付けます。



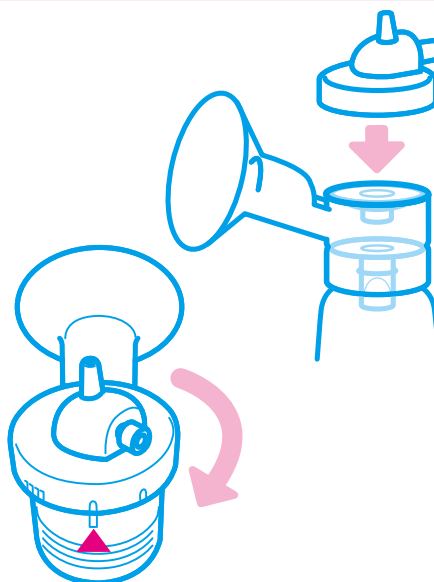
4

吸乳カップの上にコネクターを
取り付け、固定します。

【コネクターの締め方】

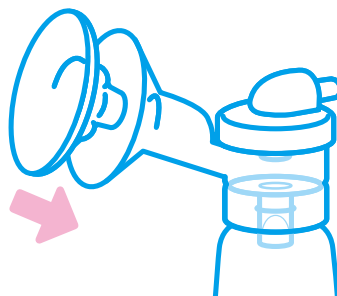
▲印の位置に合わせて上にコネクター
をのせ、矢印の方向に回してください。

※ご購入時にはシリコンプレートがすでにセット
されていますが、ご使用前には一度ばらばらにして、
洗浄をおこなってください。



5

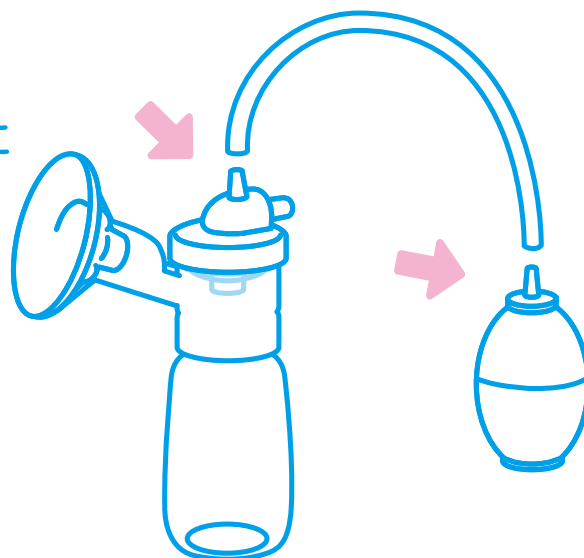
立体乳房パッドを隙間ができないように吸乳カップにかぶせます。



6

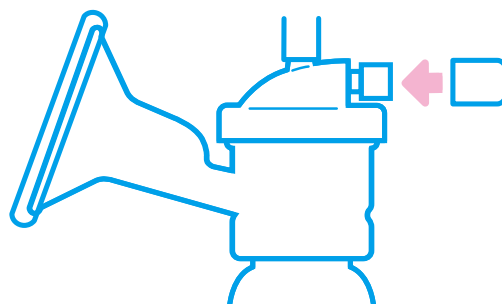
チューブの一方の端をコネクターに、もう一方の端をポンプのジョイントに差し込みます。

※差し込みには多少力がいります。



7

コネクターにさく乳解除ボタンを取り付けます。



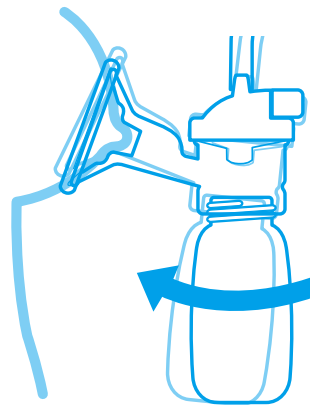
STEP. 2

上手なさく乳方法

1

立体乳房パッドの中心に乳頭がくるようにあて、立体乳房パッドがおっぱい全体をしっかりと包みこむように軽くおさえてください。

おっぱいの形・大きさによって、さく乳器の最適な角度も多少異なります。さく乳器を傾けすぎないで体に対して平行に近い状態にしてください。傾けすぎると吸乳カップとボトルの間から母乳が漏れることがありますので、ご注意ください。

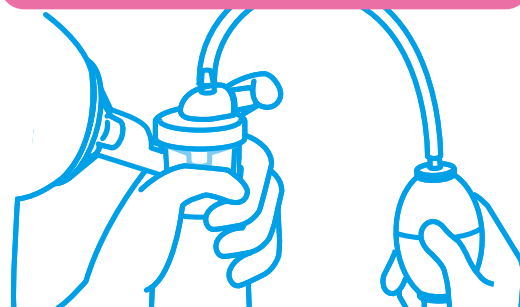


イラストはあくまでも目安です。おっぱいの形や乳頭の向きによっては矢印の方向に動かして調整してください。

2

最初にポンプを押す時は、図のようにさく乳解除ボタンを押しながらポンプを握ってください。立体乳房パッドが乳房にフィットし、さく乳がラクになります。

ポンプはゆっくり、くり返し押してください。



3

ポンプの握り方

図のようにポンプ下部を軽く握り、中央部分をゆっくりと間隔をあけて押してください。

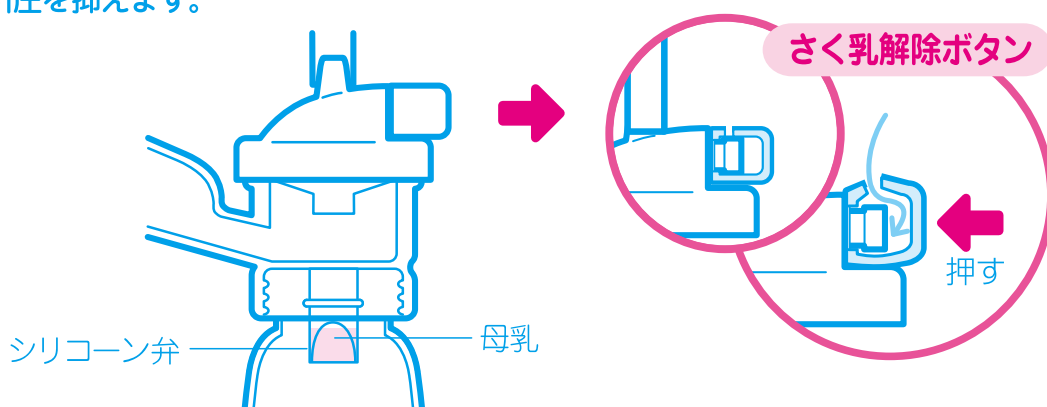
- ポンプを早く押しすぎるとポンプが凹んだまま戻らなくなることがあります。このままさく乳を続けると乳頭に負担をかけてしまうため、さく乳解除ボタンを長めに押し続けて圧力を抑え、ポンプを元の状態に戻して、一旦さく乳を中止してください。
- ポンプ全体を握るとチューブとジョイントの接続部分から空気が漏れることがありますのでおやめください。



4

さく乳中に痛いと感じた、母乳がシリコーン弁にたまった、ポンプが凹んで戻らなくなったなどの場合は、「さく乳解除ボタン」を押してください。

さく乳解除ボタンには小さい穴が空いています。指で押すことによって吸乳カップ内に空気を入れ、吸引圧を抑えます。



STEP. 3 母乳を保存する

- さく乳後、時間をあけて赤ちゃんに授乳する場合は、冷蔵庫または冷凍庫に保存することをおすすめします。専用の「母乳バッグ」または「冷凍・冷蔵専用容器」以外での、母乳の冷凍・冷蔵保存は絶対にしないでください。持ち運びする場合は、ドライアイスや氷を入れたアイスボックスに入れてください。

※母乳の保存については、専用の「母乳バッグ」または「冷凍・冷蔵専用容器」の取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。

※付属のボトルでの冷凍・冷蔵保存は、ヒビや破損の原因にもなりますので、絶対にしないでください。

- 冷凍保存の場合は、さく乳後2週間を限度として、一度解凍した母乳は再度、冷蔵・冷凍しないでください。一旦解凍した母乳で赤ちゃんに授乳して飲み残した場合は捨ててください。

※電子レンジでの解凍はしないでください。急激な加熱によって母乳に含まれる免疫体や成分が破壊されてしまいます。

- 冷蔵保存の場合は、さく乳後24時間を限度として、それ以上経過したものは絶対に赤ちゃんに飲ませないでください。授乳する時はぬるめのお湯で人肌程度に温めてください。

(3) さく乳できない時は…

A. 吸引はするが、さく乳できない時

[1] 出産後すぐ（約1ヵ月以内）

出産後は乳腺が未発達で、母乳が出にくい状態です。おっぱいの成長を待って、しばらくしてからおためください。その際、マッサージしたり温めたりしながら、ゆっくりとあせらずにおこなうことが大切です。だいたい数日すると母乳が出はじめます。また、さく乳できなくても、吸引するだけでもおっぱいのマッサージになります。

[2] 初めてさく乳器を使用する

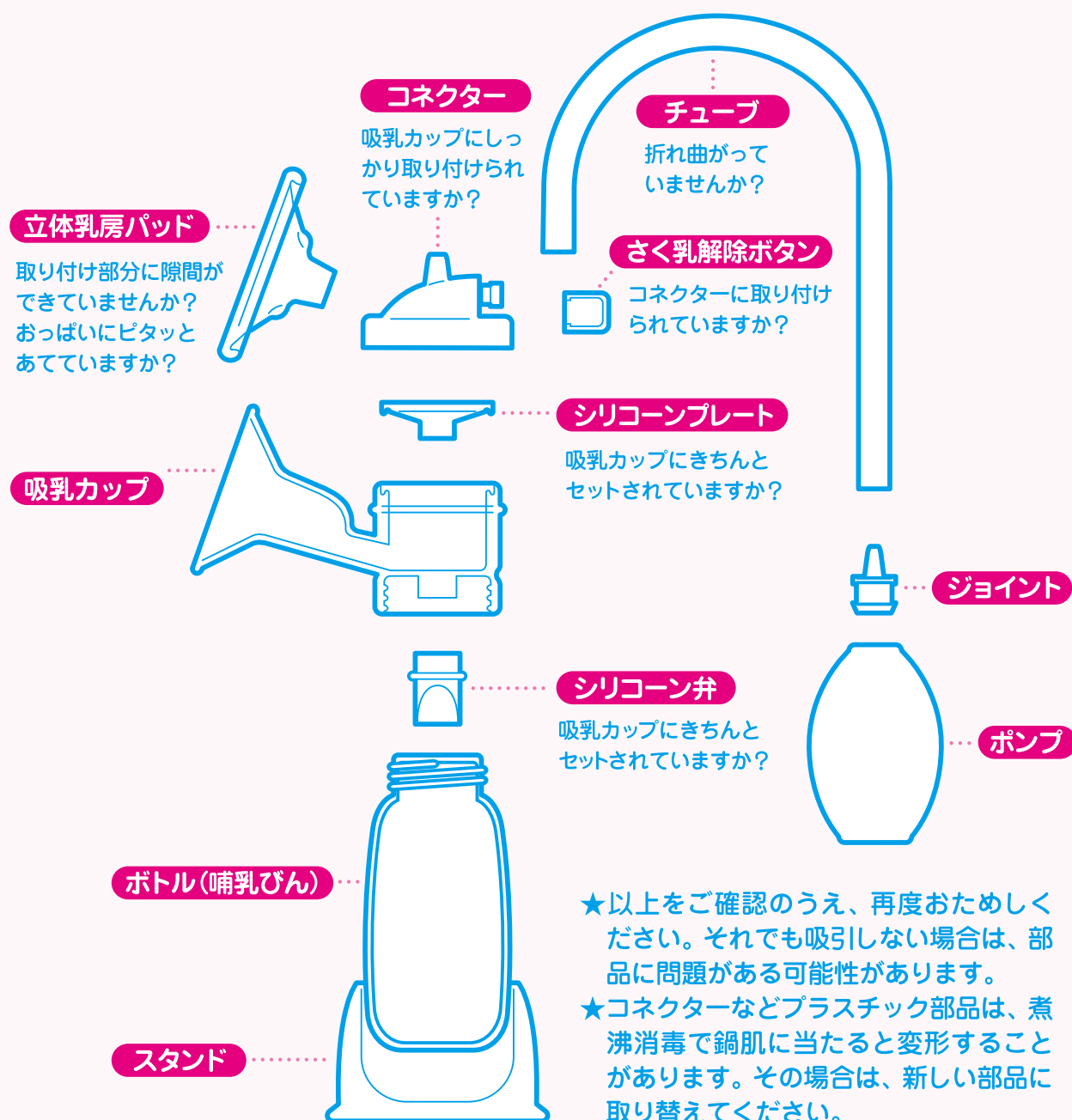
おっぱいがさく乳器に吸われることに慣れていないために、うまく出ないことがあります。あせらずに繰り返してみてください。

[3] 相性が合わない

- さく乳器はメーカーごとに特性があります。他メーカーのさく乳器でうまくできても、チュチュベビーのさく乳器で全く同じようにさく乳できるとは限りません（逆の場合もあります）。
- メーカーによって吸引力に差がありますが、強ければいいというわけではありません。吸引が強すぎると乳腺を痛めたり、乳首を傷つけてしまう危険性があります。
- チュチュベビーのさく乳器は、他メーカー商品に比べて少し弱く感じられるかもしれませんが、吸引と立体乳房パッドのマッサージ効果により、さく乳ができるしくみです。
また、何よりおっぱいを痛めることがなく、やさしくさく乳していただけるよう設計されています。

B. 正常に吸引せず、さく乳ができない時

[1] 初めから吸引しない場合



[2] 吸引力が弱い場合

[1]と同様の手順で確認をおこなってください。または、立体乳房パッドを外しておためしください。それでも吸引力が変わらないようなら、部品または商品の交換が必要です。

[3] 吸引力が強すぎる場合

吸引力の強弱はポンプの押し方でも調節できます。

乳頭・乳房に痛みや出血があったり、熱を感じた時は、すぐにさく乳を中止して、専門医に相談してください。そのまま使用していると、乳腺炎などをひき起こしたり、悪化させる危険性があります。

[4] 途中で吸引しなくなった場合

各部品がきちんとセットされていて、それぞれが正常に動いているのに吸引力が戻らない場合は、商品（特にシリコーン弁）に問題がある可能性があります。

長期使用の場合は部品の劣化が考えられます。シリコーン素材は使用とともに劣化して吸引力も低下してきます。定期的な部品交換をおすすめします。

[5] ポンプが凹んだまま元に戻らない場合

チューブが折れ曲がっていたら、吸引できません。折れ曲がり直しを再度おためしてください。それでも吸引しない場合は、ポンプが偏肉（ポンプの肉厚が一定でない）になっている可能性があります。ポンプの交換が必要です。

さく乳に関するご相談は、当社「お客様相談室」までお問い合わせください（裏表紙参照）。

(4) そのほか、こんな時は…

さく乳する母乳の量が気になったら…

母乳の出方は、精神的な影響を受けやすいデリケートなものです。イライラしたり不安な状態になるとホルモン分泌のバランスが崩れ、母乳が出にくくなることがあります。さく乳時は、ゆっくりと落ち着いた気持ちになることが大切。リラックスできるまで乳房を温めたり、マッサージをすると効果的です。

●母乳が出すぎるみたい…

母乳の量は人それぞれで、一概に「出すぎ」とは言えません。あまりにも多いと思われる場合は専門医に相談することをおすすめします。

●母乳が少ない…

初めてのママがさく乳器を使うとおっぱいが吸われることに慣れていなくて、母乳の出が少ない場合があります。リラックスし、乳房マッサージをしてみましょう。

●母乳が出ない…

まれに、手でしぼるとさく乳できるが、さく乳器を使うと母乳が出ないという方がいらっしゃいます。これは、乳腺が細く、さく乳器を使うとかえって母乳が通りにくくなるなどが原因と考えられます。取扱説明書に従って何度かおためしいただいてもさく乳できない場合は、専門医にご相談いただくか、手しぼりでさく乳されることをおすすめします。

(5) お手入れ方法

各部品のお手入れ方法(消毒と洗浄)

- 各部品の洗浄は「チュチュベビー哺乳びん野菜洗い」などの哺乳びん専用洗剤でおこない、消毒は次の表を参考におこなってください。
- ポンプ・スタントは洗浄して、よく乾燥させてください。煮沸・薬液・電子レンジ消毒はできません。
- 研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。プラスチック部品を傷つけるおそれがあります。

洗浄後は必ず消毒をしましょう

煮沸

沸とう中のお湯に全体がひたるほど沈めて、3～5分程度煮沸してください。煮沸消毒では熱湯を使用します。お子様がそばにいる時は特に危険ですので、火傷などには十分ご注意ください。また過度の煮沸は、製品を早く傷めますのでご注意ください。

薬液

薬液消毒には哺乳びん・乳首専用の消毒液や「殺菌料製剤」をご使用ください。詳しくは、ご使用の消毒液の取扱方法に従ってください。

電子レンジ

電子レンジ消毒をする時は、必ず電子レンジ専用の消毒用品をご使用ください。詳しくは、各種消毒用品の取扱方法に従ってください。

		部 品 名	材 質	3種類の消毒可否 (煮沸・薬液・電子レンジ)
さく乳器	日本製	スタント	A B S 樹脂	×
		チューブ	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
		ポンプ	天然ゴム	×
		ジョイント	ポリプロピレン	○
		シリコーン弁	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
		吸乳カップ	ポリプロピレン	○
		シリコーンプレート	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
		コネクター	ポリプロピレン	○
		立体乳房パッド	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
		さく乳解除ボタン	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
哺乳びん	日本製	フード	ポリプロピレン	○
		キャップ	ポリプロピレン	○
		乳首	合成ゴム(シリコーンゴム)	○
		びん	ほうけい酸ガラス	○
		ニップルケア	ポリプロピレン	○

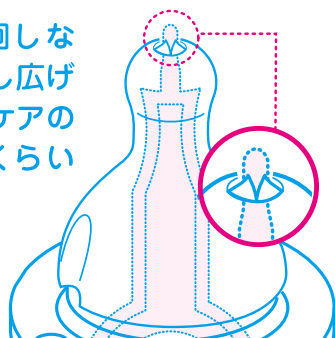
乳首のお手入れ方法

ニップルケアの使い方

乳首をご使用になる前には、必ず毎回付属のニップルケアにて、スーパークロスカット部分と空気弁を下図のように軽く押し広げてください。カット部分を強く広げると亀裂の原因となりますのでご注意ください。

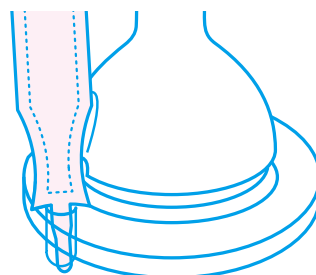
スーパークロスカットのお手入れ

内側から軽く回しながらやさしく押し広げます。ニップルケアの先端が見えるくらいが目安です。



空気弁のお手入れ

外側から軽く回しながらやさしく押し広げます。ニップルケアの先端が見えるくらいが目安です。



*キズのついた乳首はご使用にならないでください。また、歯の生えた赤ちゃんが乳首を使用すると裂けることがありますのでご注意ください。

*乳首には、安全な食品添加物のオイル状保護剤（水滴に見える場合があります）を塗布しております。安全性に問題はございませんが、はじめに洗ってからご使用ください。

乳首の保存方法

ご使用後、必ず洗浄し、直射日光の当たらない清潔で高温にならない場所に保管してください。

この乳首の交換目安は約1ヵ月です。

ひとつの乳首を連続使用すると、それになじんで、ほかの乳首をイヤがる場合がありますので、2～3個を交互にご使用ください。その場合、1個の交換目安が約1ヵ月です。

消耗品、及び小さな部品の紛失・損傷について

- コネクター ●さく乳解除ボタン ●シリコーンプレート
- 吸乳カップ ●立体乳房パッド ●シリコーン弁

などのさく乳部品については別売り部品をご用意しております。

詳しくは「お客様相談室」もしくはホームページまでお問い合わせください（裏表紙参照）。

本品は、チュチュベビーガラス製哺乳びん（150mL）がセットになっていますが、ほかの哺乳びん（広口びんを除く）もご使用いただけます。哺乳びんをご使用の場合は、チュチュベビーの哺乳びんをご使用ください。詳しくは当社ホームページでご確認ください。 ▶<http://chuchubaby.jp>



重要！ガラス哺乳びんの取り扱い

哺乳びんは落としたり、衝撃を与えたりすると、割れることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。

- 哺乳びんはガラス製です。落とすなどの急激な衝撃を与える
と破損するおそれがありますので、ご注意ください。また、
哺乳びんのご使用は保護者の監督のもとでおこなってくだ
さい。
- 哺乳びんのご使用前には、ヒビや小さなキズ等がないか確認
をしてください。キズのついた哺乳びんのご使用は絶対にお
やめください。

もし使用されますと、熱湯を入れたり急に冷やしたり、少し
の衝撃でもびんが割れることがあります。また“使用中”や
“消毒時”に割れたりするなど、事故の原因になり、たいへん
危険です。

お問い合わせは＜お客様相談室＞まで

☎06-6942-4416

（祝祭日を除く月～金 9：30～17：00）

ジェクス株式会社

〒540-0012 大阪府中央区谷町2丁目3番12号

チュチュベビーホームページ

<http://chuchubaby.jp>